

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 13		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 07.0347"						
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成30年 1月10日～平成30年 1月11日			東経	132° 17' 39.5718"					
調査業者名				主任技師				現代理人	コ 阿 者					
ボーリング責任者				現場				コ 阿 者	ボーリング責任者					
孔口標高	CDL	-4.50m	角	180° 上 下 度	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機	東邦D-1B58	ハンマー落用	半自動型	
総掘進長	7.00m		度	0°	向				エンジン	NS-110		ポンプ	東邦BG-3B	

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試料採取	室内	掘進
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値					
0											0	0	0						
1	-5.20	0.70	0.70	混りシルト質砂	濃暗灰	非常に緩い		シルト分を含んだ細～中粒砂。φ5～30mmの亜角礫や角礫が混じる。含水量多く脆弱。			0.54	39	39			0.15	⊙	物理	
2				混り砂	淡灰	緩い		中～粗粒砂。φ3～30mmの角礫・亜角礫と貝殻の細片が不規則に混じる。深度2.50m付近まで少量のシルト分を含む。礫の基質は風化した花崗岩で、カリ長石や石英が多い。深度3.80m付近、礫密集する。			1.15	1	2	4		1.15	⊙	物理	
3				混り砂	淡灰	緩い		中～粗粒砂。φ3～30mmの角礫・亜角礫と貝殻の細片が不規則に混じる。深度2.50m付近まで少量のシルト分を含む。礫の基質は風化した花崗岩で、カリ長石や石英が多い。深度3.80m付近、礫密集する。			1.48	1	2	4		1.48	⊙	物理	
4	-8.40	3.20	3.90	風化した花崗岩	淡灰褐			粗粒のまさ状又は軟質な礫片状。構成鉱物の細粒化・粘土化が著しい。			2.15	1	2	4		2.15	⊙	物理	
5	-8.80	0.40	4.30	風化した花崗岩	淡灰褐			軟岩1。粗粒のまさもしくはφ3～10mmの風化した礫片状。礫片は軟質でハンマーの軽打で砂状に崩れる。構成鉱物の細粒化や粘土化が顕著。			2.48	1	2	4		2.48	⊙	物理	
6				風化した花崗岩	淡灰褐			軟岩1。粗粒のまさもしくはφ3～10mmの風化した礫片状。礫片は軟質でハンマーの軽打で砂状に崩れる。構成鉱物の細粒化や粘土化が顕著。			3.15	2	3	8		3.15	⊙	物理	
7	-11.50	2.70	7.00					石英はφ1～2mmの砂状や細礫状で残す。カリ長石は軟質な礫状で角閃石は砂状や粘土化している。			3.47	12	30	47		3.47	⊙	物理	
8											4.15	12	15	20		4.15	⊙	物理	
9											4.49	15	23	12		4.49	⊙	物理	
10											5.15	23	12	50		5.15	⊙	物理	
11											5.39	22	4	24		5.39	⊙	物理	
12											6.15	22	25	3		6.15	⊙	物理	
											6.36	21	1	21		6.36	⊙	物理	
											7.15	21	29	50		7.15	⊙	物理	
											7.38	8	18		7.38	⊙	物理		